

2015年度連携部会方針



- SAMLの啓蒙活動の強化
→年に数回のワークショップの開催
- CloudApplicationDesktop
→Chrome As a Service
- API研究
- SAMLビジネスでの実践

Cloud Application Desktopとは

- IDフェデレーション、DS連携の研究を行う中で、下記の問題点を改善することを検討しました。
- 同時に技術的なチャレンジ要素として、WebSocketの様なオープン技術を用いて、サーバー間によるサーバー→クライアント方向の接続によるセキュリティ向上の可能性を模索しました
 - SP設置の設定難易度
 - SP設置のコスト(労力だけでなく、署名証明書など)
 - SP運用のセキュリティ面

Cloud Application Desktop として
統合環境をPaaS化することで諸問題を解決！

Chrome As a Service !?

マルチクラウド化も可能

プライベートCAでの運用が可能

Back end
Service Provider

Back end
Service Provider

Next



- Cloud Application Desktop 具体化にあたっての検討
- SAMLワークショップの検討
- セキュリティや一般WebサービスのAPIのセキュアな作り方指針

次回開催 5/13 水曜日 15:00 JPタワー